第４号様式（要綱第６条関係）

令和７年度　第１回　藤沢市立湘洋中学校 学校運営協議会会議録

開催日時　　令和７年５月28日（水）14時00分～16時30分
場　　所　　湘洋中学校　学校図書館

出席委員	品田　雅　　（会長・辻堂東地区主任児童委員） 繁里　勇　　（副会長・湘洋中学校校長） 小路口　一生（コーディネーター：地域学校協働活動推進員） 松下　千代美（ネットワーク湘南堂夢） 松尾　良子　（辻堂地区青少年育成協力会役員） 近藤　眞由美（辻堂東海岸２丁目町内会副会長） 増渕　典勝　（辻堂市民センター主幹） 村上　純子　（社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会辻堂地区コミュニティソーシャルワーカー） 宮永　繭子　（辻堂地区社会体育振興協議会役員） 下川　健志　（湘洋中学校ＰＴＡ会長） 兼田　英明　（湘洋中学校ＰＴＡ副会長） 谷　高一朗　（湘洋中学校ＰＴＡ副会長） 角田　弓江　（湘洋中学校教頭） 出席委員　　13名（欠席委員：なし） 事務局　　青木　勇人（湘洋中学校教諭） 傍聴人数　２名
次第	１　開　会 ２　委嘱状交付 ３　委員自己紹介 ４　会長並びに副会長の確認 会長　　品田　雅（辻堂東地区主任児童委員） 副会長　繁里　勇（副会長・湘洋中学校校長） ５　議　題 （1）　令和７年度湘洋中学校　学校経営方針について （2）　令和７年度湘洋中学校　学校概要について （3）　令和７年度湘洋中学校　学校運営協議会の活動について （4）　その他 ６　その他 今年度の会議日程 ７　閉会
協議	（1）　令和７年度湘洋中学校　学校経営方針について （2）　令和７年度湘洋中学校　学校概要について 委員：次年度の１年生から年次進行で35人学級となる。数年間の生徒数の推移を踏ま

協議	えると、次年度から８クラスになる可能性が高い。 委員：今年度から上履きを、従来の紐靴タイプからバレーシューズに変更した。数年前に南棟（津波避難校舎）が完成し、災害時に校外に避難する必要がなくなったため。また、最近の物価上昇に伴い、上履きも値上がりしているため。 委員：部活動のガイドラインが改定され、９月から朝練習がなしになる。 （3）　令和７年度湘洋中学校　学校運営協議会の活動について 委員：今年度は４つの事業を予定している。 ・不登校支援事業①：なぎさカフェの開催 ・不登校支援事業②：なぎさルームの充実･･･ボランティアの補充をしたい ・地域交流事業①　：文化祭への参加･･･参加団体を増やしたい ・地域交流事業②　：『生徒たちが主体的につくりあげる地域との交流事業』 生徒実行委員会発足 体育祭前の校内美化に向けた取組を企画している。 中間試験明けから地域交流に向けた企画を始める。 委員：文化祭への地域参加について、生徒の希望により、参加団体を募集してはどうか。 委員：来年度に向けて検討する。今年度、スポーツ吹き矢は決定とする。 〇地域交流事業②について、アオハル実行委員委員長、副委員長より挨拶及び説明 委員：アオハルの活動について、財源をどのように確保していくか、検討する必要がある。 委員：協賛業者が減っている状況はあるが、ベルマークを活用することも考えられる。 委員：ビーチクリーンで集めたゴミを有効活用し、文化祭で販売するのはどうか。 委員：６月７日（土）辻堂市民センターのイベントとして、「マイクロプラスチックでキーホルダーを作ろう」という取組がある。アオハルのメンバーに見学してもらうのはどうか。一般の参加ではなく、運営側の視点で学習してもらうことが有効と考える。 委員：アオハルのような活動を湘洋中の文化としていくのか。 委員：湘洋中として全校生徒で取り組むというよりも、気持ちのある生徒が行動に移せる場を提供したいという思いである。生徒が「何かやってみたい」と思ったときに湘洋中なら行動に移せる、という場であってほしい。 委員：新規事業を立ち上げる際には、５Ｗ１ＨやＰＤＣＡが重要であることを生徒に伝える必要がある。 体育祭前の校内美化についても、取組前後を比較し、評価してもらう機会があるとよいのではないか。 委員：今後、活動を考えたときに、生徒が現実に直面する場面、例えば、何か（物・金）が必要になったときに、生徒がどのように考えるかを見守ることも必要。 生徒にとっては、失敗をしてそれを生かす経験も必要ではないか。 （４）その他